



新年明けましておめでとうございます

# 支部社協通信

第6号

平成22年1月1日発行  
西条市社会福祉協議会  
地域福祉課



支部社協の皆様方におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は格別なるご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。合併後5年を経過する中で、地域福祉事業への取り組みは、旧社協事業の全市拡大を基本に「ふれあい・いきいきサロン」等の新たな事業を加えることで、年ごとに充実しており、皆様方のご尽力の賜物と感謝申し上げますところであります。

さて、本年は寅年です。覚え易くするために動物の虎が割り当てられていますが、本来の「寅」は「蟻」（いん：「動く」の意味）で、春が来て草木が生ずる状態を表しています。本会におきましても寅年にふさわしい新たな事業展開を図るべく、様々な検討を行っておりますが、支部の皆様方におかれましても地域福祉事業につきまして積極的なご提言をご期待申し上げますところであります。

本年も倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成22年元旦

西条市社会福祉協議会長 塩出皓治

## 支部社協紹介

今号では、道前平野の西部に位置する「田野支部」を紹介します。

東南境を流れる中山川（中山川沿いの県道丹原小松線）と西南境を流れる関屋川（県道関屋今井線）に囲まれ、そのほぼ中央を産業道路が通り西条市内外へのアクセスに恵まれた地域で、産業道路南部はゆるやかな二毛田地帯が多く、北部は関屋川流域に広がる扇状台地で柑橘類を中心とした西日本有数の果樹園地帯です。

しかし、農産物販売の低迷や少子高齢社会に伴う農業従事者の高齢化、後継者不足が懸念されているのが現状で、作物種を増やしたり、観光・体験農園等地域全体で創意工夫し現状打破に取り組んでいます。

### 西条市社協田野支部

支部長 佐伯 正昭



私たちの地域は、関屋川流域に広がる広く緩やかな台地で、四国・高縄両山脈や道前平野、瀬戸内海の島等の全景も楽しめ、また、すばらしい夜景も見れる恵まれた自然環境です。

先人たちの長年の努力により当支部では18小地区単位で地域福祉推進活動を行っていましたが、①世帯数や地域性の格差から活動の停滞や無活動の恐れがあること、②地域の独自性を生かした活動が期待できること、③広範囲に渡る支部単位より小回りがきき、スピーディーに対応できること、④地域福祉に対する連帯意識の高揚が図れ参加者の増加が望めること等の意見があり、平成18年度に分会設置検討会を設置し、現在の5分会（自治会）組織で三世代交流事業、高齢者訪問事業、河川清掃等の地域福祉推進活動を行っています。

地域を守り・育てるのは地域住民自身であるため、世代を超えた交流を大切にしながら地域の輪を広げ、住みよいまちづくりに寄与できればと思います。

27支部位置図



1 玉津	8 橘	15 多賀	22 丹原
2 飯岡	9 氷見	16 壬生川	23 徳田
3 西条	10 加茂	17 国安	24 田野
4 神拝	11 大保木	18 吉岡	25 中川
5 大町	12 市之川	19 三芳	26 小松
6 神戸	13 周布	20 楠河	27 石根
7 禎瑞	14 吉井	21 庄内	



## ■基本情報（平成21年9月現在）

人口 : 3,454 人  
 世帯数 : 1,301世帯  
 自治会数 : 5  
 施設等 :



田野保育園、田野小学校、丹原文化会館、  
 丹原農村婦人の家、農村環境改善センター、  
 田野婦人部ふれあい直販所、JA周桑田野支所、  
 JA周桑柑橘撰果場、西条福祉園（建設中）等

## ■地場産業

農業（稲、麦、さつまいも、アスパラ、バラ、柑橘類等）  
 水耕栽培（レタス等）  
 観光農園（ぶどう、ブルーベリー、いちご、すもも等）

## ■名所等

願成寺、綾延神社、浄明寺、山之神社、厳島神社、  
 八雲神社、からつ山、兼久大池等

## ■伝統・行事等

綾延神社の秋祭り、願成寺花まつり、とうどうさん、  
 おたのもさん、地区七夕祭り、地区クリスマス会等



## 自慢の支部事業

支部における5分会活動も徐々に浸透しており、多種多様な地域福祉活動を展開されている田野支部ですが、今回は高齢者ふれあい事業の一環として取り組んでいる「田野小学生による年賀状づくり」をご紹介します。

- 1 事業名 高齢者ふれあい事業（小学生による年賀状づくり）
- 2 目的 年賀状を通じた心のふれあいを図る
- 3 参加 田野小学校
- 4 対象 80歳以上の高齢者
- 5 内容 小学校の児童が年賀状を作成し、地域の高齢者宅へ送付する

各地域で地域福祉推進活動を行っている当支部ですが、支部単位で行う「高齢者ふれあい事業」等をはじめ、分会単位で行う「敬老の家事業」「高齢者宅訪問事業」「地域運動会」等や小地区で行う「おたのもさん」「地蔵盆」「空き缶拾い」「クリスマス会」等多種多様な活動に取り組んでいます。

今回紹介する事業「田野小学生による年賀状づくり」は、田野小学校の協力のもと昭和60年頃から継続している支部単位の事業で、地域の方々からの情報を基に、該当者もれのないよう80歳以上の方約300名の世帯名簿を作成し、小学校の児童が年賀状を作成・送付しています。

年賀状の作成については、年賀状の差出相手が異なるため、児童たちもどのような内容の年賀状を書こうか等、相手のことを思いながら心を込めて1枚1枚年賀状を書いています。一方、年賀状を受け取る高齢者の方々にとっては、年始を迎えるひとつの楽しみとなり、今年はどうのような年賀状がどの児童から届くのかなと心待ちにしているそうです。

また、待ちに待った年賀状が届いた方の中には、お礼状を書くのもひとつの楽しみにしている方もおいでのようです。

このように、1枚の年賀状が地域の高齢者と児童との心のふれあいの役目を果たしているのではないのでしょうか。

この事業は、心のふれあいの輪を地域全体に広げる地域福祉推進事業の一環として、今後とも続けていきたい事業のひとつです。

～年賀状づくり～



～クリスマス会（高松分会）～



子どもから大人まで約60名が集い、ツリーに飾り付けし賑やかなクリスマス会です